

都市を託される責任。



2017年4月3日

森トラスト株式会社
森トラスト・ビルマネジメント株式会社
森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社

PRESS RELEASE

2017年度入社式 訓示

森トラスト株式会社、森トラスト・ビルマネジメント株式会社、および森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社では、本日（4月3日）午前11時より、東京マリオットホテル（御殿山トラストシティ内）にて三社合同の2017年度入社式を開催し、本日より社会人となる新入社員89名に向けて、森トラスト、森トラスト・ホテルズ&リゾーツ代表取締役社長の伊達美和子より訓示が行われました。ここにその内容（要約）をご紹介します。

本日は入社おめでとうございます。昨年、私はグループの中核企業である森トラストの社長に就任し、グループの中長期ビジョン『Advance2027』を策定しました。皆さんは私が社長に就任し、また、『Advance2027』策定後初の新入社員となります。皆さんには、社会人として、企業人として、今後グループで活躍していただくために、二つのことを申し上げたいと思います。

まず第一に、「相互理解の精神を持ち、仕事に取り組んで欲しい」ということです。当社グループの事業は用地取得から開発、営業、管理、運営、内務部門など、各部門が支えあって成立しています。所属する会社、部署が連携し、スムーズに事業を進める必要があります。相互理解が必要となります。この相互理解というのは、単に相手に迎合すればよいという事ではありません。自ら考えた意見を相互にぶつけ合い、よりよい答えを導き出していくことを意味しています。そうして、常に環境に合わせて進化する人材・組織が、この先の社会で残り続けるのです。その為には、一つひとつの事象に対して常に疑問を持ち、よりよい方法を導き出す習慣をつけていただきたいと思います。その繰り返しが自身の将来の財産となり、今後の成長に繋がっていきます。

そして第二は、「社会の変化を意識し、常に5年先を描きながら仕事に取り組んで欲しい」ということです。昨今の世界経済は、英国のEU離脱やトランプ米大統領誕生など、グローバルからナショナリズムの台頭へと変化しつつあります。国内においても、労働力不足の顕著化、働き方改革、生産性向上が課題となっています。さらに、ビッグデータ、AIの世界的な潮流を、いかに取り込んでいくかが問われる時代になっています。東京五輪までの数年間、社会はいたるところでパラダイムシフトが起こり、戦略の再構築が求められる変革期となると考えられます。今後、企業はこの変化に備える5年間となるでしょう。新入社員の皆さんは、まずは仕事を覚えるところから始まりますが、常に社会の変化を意識するとともに、5年後の自身の未来像を描き、社会や会社にどのように貢献していくのか、一歩先の目線で視野を広げ、仕事に取り組んで欲しいと思います。

以上の二点を意識し、輝かしい社会人生活の第一歩を力強く踏み出してください。これから皆さんとともに仕事ができることを楽しみにしています。

森トラスト株式会社
森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社
代表取締役社長 伊達 美和子